



# フォントの管理

---

Sun Microsystems, Inc.  
4150 Network Circle  
Santa Clara, CA 95054  
U.S.A.

Part No: 816-3957-11  
2002 年 12 月

Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品に含まれる HG 明朝 L、HG-MincyoL-Sun、HG ゴシック B、および HG-GothicB-Sun は、株式会社リコーがリコービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。HG 平成明朝体 W3@X12 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、docs.sun.com、AnswerBook、AnswerBook2 は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。© Copyright OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. © Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本製品に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は郵政事業庁が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行なっています)。

本製品に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド '98』に添付のものを使用しています。© 1997 ビレッジセンター

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DtComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(© 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: *Font Administrator User's Guide*

Part No: 816-0281-10

Revision A



020926@4660



# 目次

---

はじめに	7
<b>1 概要</b>	<b>11</b>
フォント管理の起動方法	11
フォント管理のメインウィンドウ	12
フォントメニュー	14
オプションメニュー	14
ヘルプメニュー	15
<b>2 フォントの表示</b>	<b>17</b>
フォントリストの表示方法	17
ローカルホストのフォントリスト	17
NeWSprint プリンタのフォントリスト	18
サンプルテキストの表示方法	18
現在のセッションでのみ有効なサンプルテキスト	18
デフォルトのサンプルテキストの設定	19
フォントの属性の表示方法	19
フォントの別名の表示方法	20
フォントの検索方法	21
フォントの削除方法	22
<b>3 フォントの利用</b>	<b>23</b>
フォントのインストール方法	23
衝突の解決方法	25
インストールディレクトリをフォントパスへ追加する方法	27

フォントパスの変更方法	27
フォントパスの一覧表示	28
フォントパスの並べ替え	29
フォントパスの削除	29
フォントパスの追加	30
ディレクトリチューザの使い方	30

<b>A</b>	フォント管理のメッセージ	33
	path already exists in font path (パスはすでにフォントパスに存在しています)	33
	対策	33
	text is not a directory (テキストはディレクトリではありません)	33
	対策	33
	path does not exist (パスは存在しません)	34
	対策	34
	Your system is mounting OpenWindows from a server (このシステムはサーバーから OpenWindows をマウントしています)	34
	対策	34
	Unable to add the installation directory automatically to the font path (インストールディレクトリを自動的にフォントパスに追加できません)	35
	対策	35
	Error while saving font path for local printer (ローカルプリンタのフォントパスの保存中にエラーが発生しました)	35
	対策	35
<b>B</b>	フォント管理のユーティリティ	37
	フォントパスの追加 (sdtfpadd)	37
	コマンド構文	37
	フォントパスの一覧表示 (sdtfpls)	38
	コマンド構文	38
	フォントパスの削除 (sdtfprm)	38
	コマンド構文	38
	フォントのインストール (sdtfontadd)	39
	コマンド構文	39
	フォントの一覧表示 (sdtfontls)	39
	コマンド構文	40
	フォントの削除 (sdtfontrm)	40
	コマンド構文	40

<b>C</b>	<b>アジアの言語のフォントセット</b>	<b>43</b>
	フォントセットの検索	43
	フォントセットの置換	44
	フォントセットの命名	45

	索引	47
--	----	----



# はじめに

---

このマニュアルでは、フォント管理ツールを使用して、OpenWindows™ システムおよび NeWSprint™ プリンタのフォントを管理する方法について説明します。

---

## 対象読者

フォント管理を使用してフォントを管理するユーザーおよびシステム管理者を対象としています。

---

## 内容の紹介

第1章では、フォント管理の起動方法とフォント管理のメインウィンドウについて説明します。

第2章では、フォントリスト、別名、サンプルテキストの表示方法を説明するほか、フォントの削除方法についても示します。

第3章では、フォントのインストール方法、フォントパスの変更方法、ディレクトリチューザの使い方について説明します。

付録 A では、エラーメッセージを一覧表示するほか、予想される原因とその対処方法について説明します。

付録 B では、フォント管理のコマンド行ユーティリティについて説明します。

付録 C では、フォント管理を使用してアジア言語のフォントセットを編集する方法について説明します。この付録はアジア言語のフォントを使用するユーザーにのみ適用されます。

---

# Sun のオンラインマニュアル

<http://docs.sun.com> では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索をおこなうこともできます。

---

## 表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。  system%
<b>AaBbCc123</b>	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	system% <b>su</b> password:
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。  この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	sun% <b>grep</b> \^#define \ XV_VERSION_STRING'

コード例は次のように表示されます。

- C シェルプロンプト



```
system% command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのプロンプト

```
system$ command y|n [filename]
```

- スーパーユーザーのプロンプト

```
system# command y|n [filename]
```

[ ] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

---

## 一般規則

- このマニュアルでは、英語環境での画面イメージを使っています。このため、実際に日本語環境で表示される画面イメージとこのマニュアルで使っている画面イメージが異なる場合があります。本文中で画面イメージを説明する場合には、日本語のメニュー、ボタン名などの項目名と英語の項目名が、適宜併記されています。



# 第 1 章

---

## 概要

---

フォント管理 (Font Administrator) は、Solaris™ が動作する OpenWindows を使用しているユーザーとシステム管理者がフォントを管理するためのグラフィカルツールです。

この章では、フォント管理を開く方法とフォント管理のメインウィンドウについて説明します。

---

## フォント管理の起動方法

フォント管理を開くには、次の手順に従います。

1. **Solaris** 共通デスクトップ環境 (**Solaris CDE**) のフロントパネルのサブパネルからアプリケーションマネージャコントロールをクリックします。



2. アプリケーションマネージャで、システム管理フォルダをダブルクリックします。



3. システム管理フォルダで、フォント管理アイコンをダブルクリックします。



または、次のコマンドを入力して、フォント管理を起動することもできます。

```
sun% /usr/dt/bin/sdtfontadm &
```

フォント管理のメインウィンドウ (図 1-1) が表示され、現在ローカルホスト上にインストールされているフォントが一覧表示されます。メインウィンドウの詳細については、12 ページの「フォント管理のメインウィンドウ」を参照してください。

---

注 - X 端末を介してフォント管理を実行している場合、フォント管理で管理されるフォントは X 端末上のフォントではなく、ホストシステム上のフォントです。また、X 端末上のフォントとホスト上のフォントが異なる場合、フォントのサンプルテキストを X 端末上に表示できません。

---

## フォント管理のメインウィンドウ

フォント管理のメインウィンドウには、現在インストールされているフォントが一覧表示されます。また、各フォントの属性やサンプルテキストも表示できます。

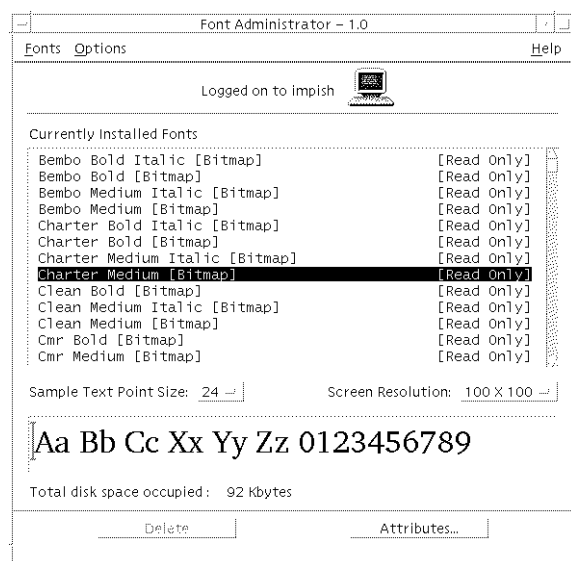


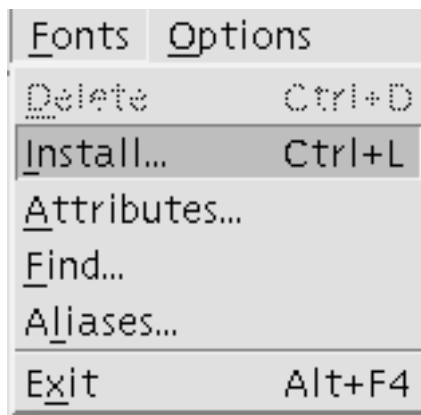
図 1-1 フォント管理のメインウィンドウ

フォント管理のメインウィンドウは、次の部分から構成されます。

- メニューバー  
メニューバー上のメニューは、フォント管理の各機能を利用するために使用します。フォント (Fonts) メニュー、オプション (Options) メニュー、ヘルプ (Help) メニューが含まれます。
- 現在インストールされているフォント (Currently Installed Fonts)  
このボタンは、ローカルホストと NeWSprint プリンタのどちらのフォントを管理するかを選択します。
- フォントのリスト  
現在インストールされているフォントが一覧表示されます。このリストから特定のフォントを選択して、属性を表示したり、削除したりすることができます。複数のフォントを一度に選択する場合は、Control キーを押しながら、目的のフォントを順番にクリックします。
- サンプルテキストの表示領域  
現在選択されているフォントのサンプルテキストが表示されます。表示されているサンプルテキスト以外でも、直接この領域に入力して表示を確認することができます。
- サンプルテキストのポイントサイズ (Sample Text Point Size)  
サンプルテキストの大きさを選択するために使用します。サンプルテキストの大きさは、現在のフォントで使用可能な大きさの中から選択できます。テキストを大きくしたい場合はポイントを大きくし、テキストを小さくしたい場合はポイントを小さくします。

- 画面解像度 (Screen Resolution)  
現在選択しているフォントに対して異なる表示解像度を選択するために使用します。
- 使用しているディスク容量の合計 (Total disk space occupied)  
現在選択しているフォントが必要とするディスク容量の合計を表示します。これにより、ディスク容量の管理を容易に行えます。

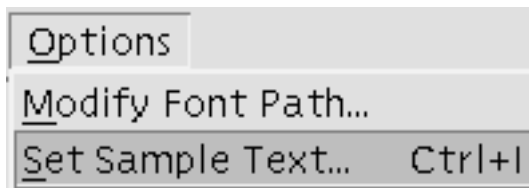
## フォントメニュー



フォント (Fonts) メニューには、次のサブメニュー項目があります。

削除 (Delete)	選択されている1つまたは複数のフォントを削除する
インストール (Install)	特定のフォントをインストールする
属性 (Attributes)	選択されているフォントの属性を表示する
検索 (Find)	指定したフォントがフォントのリストに含まれているかどうかを検索する。フォント名はその一部を入力しても指定できる
別名 (Aliases)	現在インストールされているフォントの別名を一覧表示する
終了 (Exit)	フォント管理を終了する

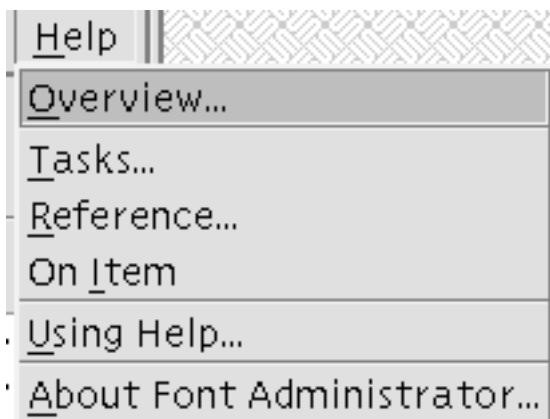
## オプションメニュー



オプション (Options) メニューには、次のサブメニュー項目があります。

- |                               |                     |
|-------------------------------|---------------------|
| フォントパスの変更 (Modify Font Path)  | フォントパスを変更する         |
| サンプルテキストの設定 (Set Sample Text) | デフォルトのサンプルテキストを変更する |

## ヘルプメニュー



ヘルプ (Help) メニューには、次のサブメニュー項目があります。

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 概要 (Overview)      | フォント管理の機能概要を表示する          |
| タスク (Tasks)        | フォント管理の使い方を手順を追って表示する     |
| リファレンス (Reference) | フォント管理のコンポーネントのサマリ情報を表示する |

アイテムヘルプ (On Item)

このサブメニュー項目をクリックすると、ポインタがクエスチョンマークに変わる。このクエスチョンマークポインタをフォント管理の項目でクリックすると、その項目の説明が表示される

ヘルプの使用 (Using Help)

ヘルプの使い方を表示する

フォント管理について (About Font Administrator)

フォント管理のバージョン、著作権、ライセンスに関する情報を表示する



## 第 2 章

---

# フォントの表示

---

この章では、フォントリスト、別名、サンプルテキストの表示方法を説明するほか、フォントの削除方法についても示します。この章に記述する内容は次のとおりです。

- フォントリストの表示方法
- サンプルテキストの表示方法
- フォントの属性の表示方法
- フォントの別名の表示方法
- フォントの検索方法
- フォントの削除方法

---

## フォントリストの表示方法

ローカルな OpenWindows システムまたは NeWSprint プリンタのフォントリストを表示できます。

### ローカルホストのフォントリスト

ローカルホストにインストールされているフォントリストを表示するには、次の手順に従います。

1. メインウィンドウで、「現在インストールされているフォント」という項目を探します。
2. ローカルホスト名の隣りのチェックボックスをクリックします。

メインウィンドウ (図 1-1) に、現在インストールされているフォントが一覧表示されます。メインウィンドウの説明については、12 ページの「フォント管理のメインウィンドウ」を参照してください。

## NeWSprint プリンタのフォントリスト

ローカルプリンタサーバー上の NeWSprint プリンタにインストールされているフォントリストを表示するには、次の手順に従います。

1. メインウィンドウで、「現在インストールされているフォント」という項目を探します。
2. **NeWSprint** プリンタオプションの隣りのチェックボックスをクリックします。
3. **NeWSprint** プリンタオプションメニューを使用して、フォントを管理したいプリンタを選択します。

メインウィンドウ (図 1-1) に、現在インストールされているフォントが一覧表示されます。メインウィンドウの説明については、12 ページの「フォント管理のメインウィンドウ」を参照してください。

---

注 - プリンタのフォントを表示および管理するには、フォント管理をスーパーユーザーとして実行している必要があります。

---

## サンプルテキストの表示方法

表示領域に直接、入力することによって、現在のセッションでのみ有効なサンプルテキストを表示させることができます。また、デフォルトとして表示されるサンプルテキストを設定することも可能です。

### 現在のセッションでのみ有効なサンプルテキスト

メインウィンドウまたはインストールダイアログのサンプルテキストの表示領域に特定の文字または文字列を入力すると、現在のフォントでその文字または文字列がどのように表示されるかを確認できます。

メインウィンドウ図とその説明については、12 ページの「フォント管理のメインウィンドウ」を参照してください。また、インストールダイアログ図とその説明については、23 ページの「フォントのインストール方法」を参照してください。

## デフォルトのサンプルテキストの設定

メインウィンドウまたはインストールダイアログでフォントを選択すると、自動的にデフォルトのサンプルテキストが表示されます。メインウィンドウ図とその説明については、12 ページの「フォント管理のメインウィンドウ」を参照してください。また、インストールダイアログ図とその説明については、23 ページの「フォントのインストール方法」を参照してください。

デフォルトのサンプルテキストを設定するには、次の手順に従います。

1. オプションメニューから「サンプルテキストの設定」を選択します。



図 2-1 サンプルテキストの設定ダイアログ

2. サンプルテキストの設定ダイアログで、テキストボックス内をクリックして、デフォルトとして表示したいテキストを入力します。
3. 「了解 (OK)」または「適用 (Apply)」をクリックして、サンプルテキストの設定を保存します。

---

注 - デフォルトのサンプルテキストは、ユーザーのホームディレクトリに格納されるユーザー設定であるため、ホームディレクトリを持たないスーパーユーザーの場合は設定できません。このため、スーパーユーザーの場合に他のサンプルテキストを表示するには、サンプルテキストの表示領域に直接そのテキストを入力します。

---

## フォントの属性の表示方法

フォントの属性を表示するには、次の手順に従います。

1. メインウィンドウで、属性を表示したいフォント名をクリックします。
2. 「属性」をクリックします。

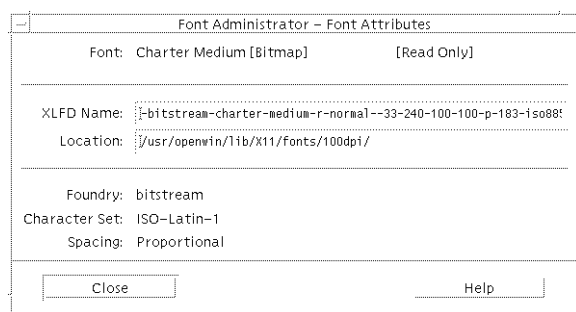


図 2-2 フォント属性ダイアログ

選択したフォントに関して、次の情報がフォント属性ダイアログに表示されます。

フォント (Font)	フォントの俗称
XLFD 名 (XLFD Name)	X 論理フォント記述子
位置 (Location)	フォントのファイルシステムの位置
開発元 (Foundry)	フォントの開発元
文字セット (Character Set)	このフォントで使用される文字セット
スペーシング (Spacing)	フォントのスペーシングがモノスペースとプロポーションナルのどちらであるかを表示

---

注 - フォント属性ダイアログは、「閉じる (Close)」をクリックするまで画面に表示され、選択した各フォントの属性を順番に表示していきます。さらに他のフォントの属性も表示する場合は、メインウィンドウのリストから目的のフォントを1つずつクリックします。

---

---

## フォントの別名の表示方法

フォントの別名を表示するには、フォントメニューから「別名」を選択します。

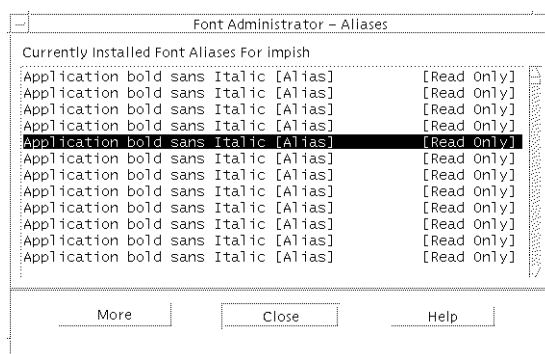


図 2-3 別名ダイアログ

別名ダイアログに、現在インストールされているフォントの別名が一覧表示されます。特定の別名の属性を表示するには、目的の別名を選択し、「機能拡張 (More)」をクリックします。また、表示されている別名の属性を画面から消去するには、「基本機能 (Less)」をクリックします。

---

## フォントの検索方法

フォントリストを検索するには、次の手順に従います。

1. フォントメニューから「検索」を選択します。

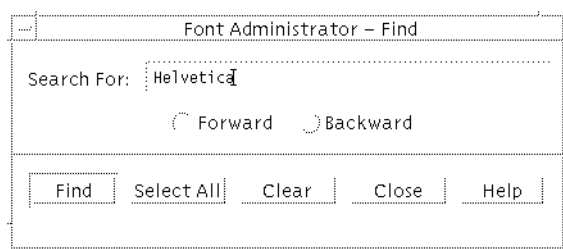


図 2-4 検索ダイアログ

2. 検索ダイアログの「検索フォント (Search For:)」フィールドに、検索したいフォント名を入力します。
3. 「前方検索 (Forward)」または「後方検索 (Backward)」をクリックして選択します。  
「前方検索 (Forward)」をクリックすると、現在選択されているフォントからリストの下に向かって検索が行われます。「後方検索 (Backward)」をクリックすると、現在

選択されているフォントからリストの上に向かって検索が行われます。

4. 「検索 (Find)」をクリックします。

検索テキストが含まれるフォント名のうち、次に見つかったフォント名が表示されます。「すべてを検索 (Select All)」をクリックすると、検索テキストが含まれるフォント名がすべて表示されます。

---

## フォントの削除方法

1つまたは複数のフォントを削除するには、次の手順に従います。

1. メインウィンドウで、削除したいフォント名をクリックして選択します。

削除したいフォントが複数ある場合は、Control キーを押しながら、削除したいフォントを順番にクリックします。メインウィンドウ図とその説明については、12 12 ページの「フォント管理のメインウィンドウ」を参照してください。



---

注意 – フォントの削除を行うと、元に戻すことはできません。フォントを削除する前に、そのフォントを本当に削除してよいかどうかを必ず確認してください。

---

2. 「削除」をクリックします。

3. 本当に削除してもよいかどうか確認を求める警告ダイアログで、再度「削除」をクリックします。

---

注 – 共用システムディレクトリ /usr/openwin からフォントを削除するには、フォント管理をスーパーユーザーとして実行している必要があります。

---

## 第3章

---

# フォントの利用

---

この章では、フォントのインストール方法、フォントパスの変更方法、ディレクトリ  
チューザの使い方について説明します。

---

## フォントのインストール方法

フォントをインストールするには、次の手順に従います。

1. フォントメニューから「インストール」を選択します。

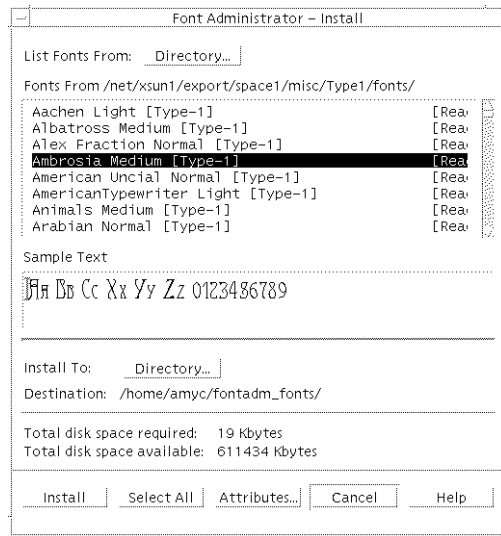


図 3-1 インストールダイアログ

2. インストールダイアログ上部の「フォントの表示: ディレクトリ (List Fonts From: Directory...)」 ボタンをクリックします。

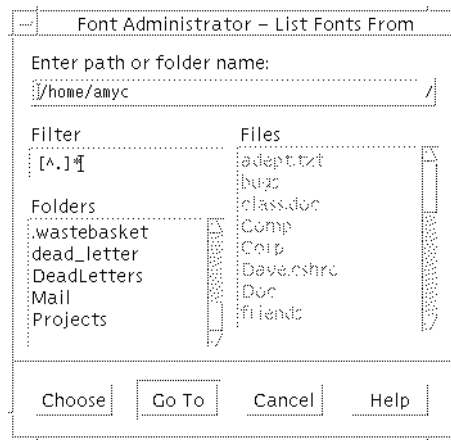


図 3-2 ディレクトリチューザ

3. ディレクトリチューザを使用して、インストールしたいフォントが含まれるディレクトリを表示し、選択します。

目的のディレクトリが見つかったら、そのディレクトリをダブルクリックした後、「選択 (Choose)」をクリックすると、そのディレクトリに格納されているフォントが



一覧表示されます。ディレクトリチューザの詳細については、30 ページの「ディレクトリチューザの使い方」を参照してください。

---

注 – 選択したディレクトリに格納されているフォントの検索には、しばらく時間がかかることがあります。

---

4. インストールダイアログで、**1**つまたは複数のインストールしたいフォントを選択します。すべてのフォントをインストールしたい場合は、「すべてを選択」をクリックします。
5. フォントをインストールしたいローカルホストまたはプリンタを選択します。
6. ディレクトリチューザを使用して、インストール先のディレクトリを表示し、選択します。  
ディレクトリチューザの詳細については、30 ページの「ディレクトリチューザの使い方」を参照してください。
7. そのフォントをインストールするために必要なディスク容量がシステム内にあるかどうかを確認します。
8. 「インストール」をクリックします。

---

注 – 共用システムディレクトリ `/usr/openwin` にフォントをインストールするには、フォント管理をスーパーユーザーとして実行している必要があります。

---

## 衝突の解決方法

インストールしようとしたフォントと同じ名前ですでに別のフォントがインストールされている場合、衝突ダイアログが表示されます。

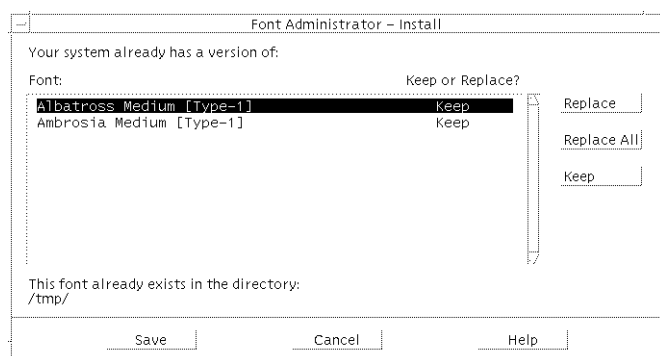


図 3-3 衝突ダイアログ

衝突ダイアログには、インストールしようとしたフォントと同じ名前ですでにシステムにインストールされているフォントが一覧表示されます。

## すでにインストールされているフォントをすべてそのまま使用する場合

すでにインストールされているフォントをすべてそのまま使用する場合は、「保存 (Save)」をクリックします。

## すべてのフォントを置換する場合

すでにインストールされているフォントをすべて新しいフォントに置換する場合は、次の手順に従います。

1. 「すべて置換 (Replace All)」をクリックします。
2. 「保存」をクリックします。

## 特定のフォントだけを置換する場合

特定のフォントだけを新しいフォントに置換するには、次の手順に従います。

1. 置換したいフォントをクリックします。
2. 「置換 (Replace)」をクリックします。
3. 置換したいすべてのフォントに対して、手順 1 と手順 2 を繰り返します。
4. 「保存」をクリックします。

## インストールディレクトリをフォントパスへ追加する方法

デフォルトのフォントパスにないディレクトリにフォントをインストールした場合、スーパーユーザーであれば、そのディレクトリを自動的にデフォルトのフォントパスに追加できます。また、フォントパスの変更ダイアログから、手動でデフォルトのフォントパスにディレクトリを追加することも可能です。

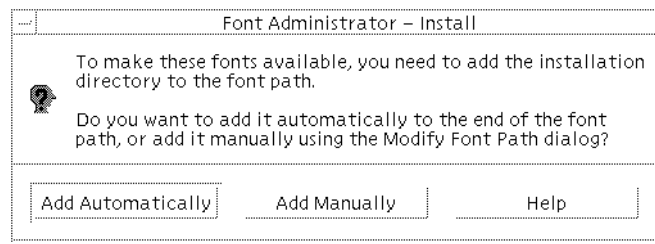


図 3-4 インストールディレクトリの追加ダイアログ

---

注 – このダイアログが表示されるのは、スーパーユーザーとしてフォント管理を実行している場合だけです。スーパーユーザーでない場合は、ユーザーのフォントパスにインストールディレクトリが追加されます。ただし、ユーザーのフォントパスへの変更内容は、フォント管理を終了すると、無効になります。

---

---

## フォントパスの変更方法

フォントパスを変更するには、次のような作業が必要になります。

- フォントパスの一覧表示
- フォントパスの並べ替え
- フォントパスの削除
- フォントパスの追加

---

注 – フォントパスを変更するには、フォント管理をスーパーユーザーとして実行している必要があります。

---



注意 – デフォルトのフォントパスは、すべてのユーザーで共有されます。このため、デフォルトのフォントパスを変更すると、そのフォントパスを参照するすべてのユーザーが影響を受けます。



注意 – OpenWindows をインストールすると、デフォルトのフォントパスは初期化されます。このため、デフォルトのフォントパスに対して行なった変更内容を記録しておく、OpenWindows をインストールした場合でも、フォントパスを復元できます。

## フォントパスの一覧表示

変更したいフォントパスを一覧表示するには、次の手順に従います。

1. オプションメニューから「フォントパスの変更」を選択します。

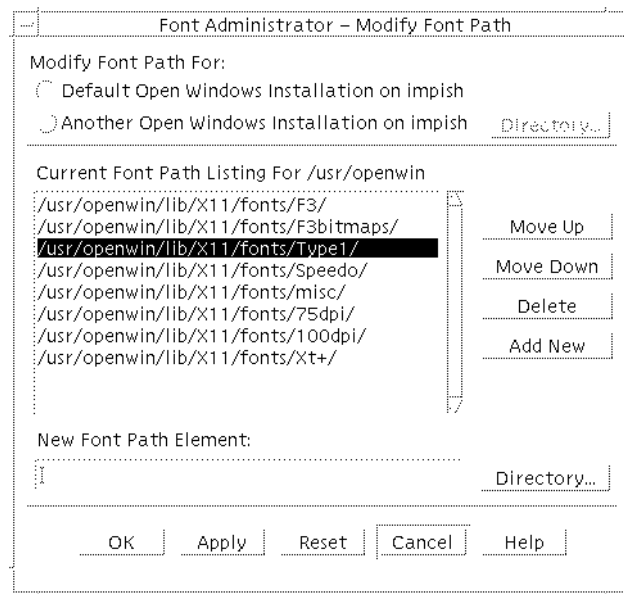


図 3-5 フォントパスの変更ダイアログ

2. フォントパスの変更 (**Modify Font Path**) ダイアログで、該当するチェックボックスをクリックします。

- ローカルホスト上の別の **OpenWindows** システムのフォントを変更する場合は、「ディレクトリ (**Directory**)」をクリックした後、ディレクトリチューザを使用して、目的の **OpenWindows** システムを選択します。  
ディレクトリチューザの詳細については、30 ページの「ディレクトリチューザの使い方」を参照してください。
- NeWSprint** プリンタのフォントパスを変更する場合は、プリンタオプションメニューで目的のプリンタを選択します。  
  
該当するフォントパスが一覧表示されます。

## フォントパスの並べ替え

フォントパスを並べ替えるには、次の手順に従います。

- オプションメニューから「フォントパスの変更」を選択します。
- フォントパスの変更ダイアログ (図 3-5) で変更するフォントパスを一覧表示します。
- 移動したいフォントパスをクリックします。
- 「上に移動 (**Move Up**)」または「下に移動 (**Move Down**)」をクリックして、フォントパスを目的の場所に移動します。
- フォントパスがすべて正しい順番になるまで、手順 3 と手順 4 を繰り返します。
- 「了解 (**OK**)」または「適用 (**Apply**)」をクリックして、変更内容を有効にします。

## フォントパスの削除

フォントパスを削除するには、次の手順に従います。

- オプションメニューから「フォントパスの変更」を選択します。
- フォントパスの変更ダイアログ (図 3-5) で、変更するフォントパスを一覧表示します。
- 削除したいフォントパスをクリックします。
- 「削除 (**Delete**)」をクリックします。
- 削除したいフォントパスがすべて削除されるまで、手順 3 と手順 4 を繰り返します。
- 「了解」または「適用」をクリックして、変更内容を有効にします。

## フォントパスの追加

フォントパスを追加するには、次の手順に従います。

1. オプションメニューから「フォントパスの変更」を選択します。
2. フォントパスの変更ダイアログ (図 3-5) で、変更するフォントパスを一覧表示します。
3. 「新しいフォントパス (**New Font Path Element**)」テキストボックス内をクリックします。
4. 新しいフォントパスを入力します。  
「ディレクトリ」をクリックし、ディレクトリチューザを使用して、フォントパスに追加したいディレクトリを表示した上で、選択することもできます。ディレクトリチューザを使用してディレクトリを選択する場合、目的のディレクトリが見つかったら、そのディレクトリをダブルクリックした後、「選択」をクリックすると、「新しいフォントパス」テキストボックスにそのディレクトリが指定されます。  
ディレクトリチューザ図とその説明については、30 ページの「ディレクトリチューザの使い方」を参照してください。
5. フォントパスの変更ダイアログで、「新規に追加 (**Add New**)」をクリックします。
6. 追加したいフォントパスがすべて追加されるまで、手順 3 から手順 5 を繰り返します。
7. 「了解」または「適用」をクリックして、変更内容を有効にします。

---

## ディレクトリチューザの使い方

ディレクトリチューザは、次のような場合に使用します。

- インストールするフォントが格納されているディレクトリを選択する
- フォントのインストール先のディレクトリを選択する
- フォントパスを変更したい OpenWindows システムが格納されているディレクトリを選択する
- フォントパスに追加するディレクトリを選択する

---

注 - タイトルバーに、現在なぜディレクトリチューザが表示されているのかが示されます。

---

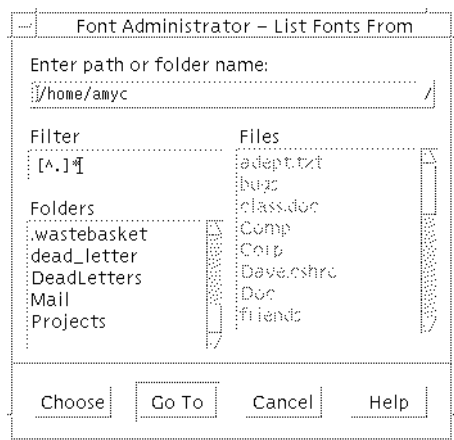


図 3-6 ディレクトリチューザ

ディレクトリチューザは、次の項目から構成されます。

パス名またはフォルダ名 (Enter path or folder name)	目的のディレクトリのパスを入力または表示する。フロッピーディスクまたは CD-ROM からディレクトリを選択するには、左端の矢印をクリックし、目的のドライブを選択する
フィルタ (Filter)	ファイルおよびフォルダの検索基準を入力する
フォルダ (Folders)	ディレクトリ内のサブディレクトリが一覧表示される
ファイル (Files)	ディレクトリ内のファイルが一覧表示される
選択 (Choose)	最後に「移動 (Go To)」を指定したディレクトリが選択される
移動 (Go To)	ディレクトリチューザの先頭で指定したディレクトリのフォルダとファイルが一覧表示される



---

注意 – フォルダをクリックしても、「移動」をクリックしていない場合、そのフォルダ名はディレクトリビューの上部に表示されますが、選択されているのは親ディレクトリのままです。間違って親ディレクトリを選択しないようにするために、必ず目的のフォルダをダブルクリックまたは「移動」をクリックしてください。

---

---

注 – この機能は、ディレクトリ (フォルダ) を選択するためのものであり、ファイルを選択するためのものではないため、ファイルリストは常にグレー表示されます。

---



## 付録 A

---

### フォント管理のメッセージ

---

この付録では、エラーメッセージを一覧表示するほか、予想される原因とその対処方法について説明します。

---

#### path already exists in font path (パスはすでにフォントパスに存在しています)

指定したパスが、すでにフォントパスに存在しています。

#### 対策

処置は不要です。

---

#### text is not a directory (テキストはディレクトリではありません)

ディレクトリでない情報を指定しています。フォントパスに追加できるのは、ディレクトリだけです。

#### 対策

指定したフォントパスがディレクトリであるかどうかを確認してください。

---

## path does not exist (パスは存在しません)

指定したパスが存在しません。

### 対策

- 正しいパスを指定しているかどうか確認してください。
- 目的のパスを作成して、フォントパスに追加してください。

---

## Your system is mounting OpenWindows from a server (このシステムはサーバーから OpenWindows をマウントしています)

アプリケーションで使用されるフォントが、遠隔システムの OpenWindows サーバーに格納されています。フォント管理で管理されるフォントは、ローカルシステム上のフォントです。

### 対策

- システム管理者にお問い合わせください。
- システム管理者は、OpenWindows サーバーと同じシステム上でフォント管理を実行してください。

---

## Unable to add the installation directory automatically to the font path (インストールディレクトリを自動的にフォントパスに追加できません)

フォントパスを自動更新できません。インストールされたフォントをユーザーが使用するには、インストールディレクトリがフォントパス内になければなりません。

### 対策

フォントパスに対して書き込み権があるかどうか確認してください。

---

## Error while saving font path for local printer (ローカルプリンタのフォントパスの保存中にエラーが発生しました)

プリンタ構成ファイルまたは `$OPENWINHOME/lib/fonts` ディレクトリのいずれかに問題があります。

### 対策

- プリンタ構成ファイル `/etc/lp/printers/printer_name/.param` が存在しているか、あるいは壊れていないかを確認してください。
- `$OPENWINHOME/lib/fonts` ディレクトリが存在しているかどうかを確認してください。



## 付録 B

---

# フォント管理のユーティリティ

---

この付録では、フォント管理のコマンド行ユーティリティについて説明します。コマンド行ユーティリティには、次のようなものがあります。

<code>sdtfpadd</code>	フォントパスにパスを追加する
<code>sdtfpls</code>	フォントパスをコンマで区切って一覧表示する
<code>sdtfprm</code>	フォントパスからパスを削除する
<code>sdtfontadd</code>	指定されたディレクトリにフォントをインストールする
<code>sdtfontls</code>	指定されたディレクトリ内のフォントを一覧表示する
<code>sdtfontrm</code>	指定されたディレクトリからフォントを削除する

---

## フォントパスの追加 (`sdtfpadd`)

指定されたパスをフォントパスに追加します。新しいフォントパスは、フォントパス内の任意の場所に追加できます。なお、このユーティリティを実行できるのは、スーパーユーザーだけです。

### コマンド構文

```
/usr/dt/bin/sdtfpadd [-e topdir] position font_path_element
```

形式説明

`-e topdir` フォントパスを変更する OpenWindows のインストールディレクトリを指定する。このオプションを指定しない場合、デフォルトとして `/usr/openwin` が指定する

<i>position</i>	新しいフォントパスを挿入するフォントパス内の位置を指定する。 <i>first</i> 、 <i>last</i> 、または新しいフォントパスを挿入する位置を示す正の整数のいずれかを指定する
<i>font_path_element</i>	フォントパスに追加するディレクトリを指定する

---

## フォントパスの一覧表示 (sdtfpls)

ユーザーの個人的なフォントパス設定に格納されているフォントパスを一覧表示します。また、スーパーユーザーの場合は、指定された OpenWindows のインストールディレクトリにあるフォントパスを一覧表示します。

### コマンド構文

```
/usr/dt/bin/sdtfpls [-e topdir]
```

ここで、*-e topdir* はスーパーユーザーの場合にのみ指定し、フォントパスを一覧表示する OpenWindows のインストールディレクトリを指定します。このオプションを指定しないと、デフォルトとして */usr/openwin* が指定されます。

---

## フォントパスの削除 (sdtfprm)

指定されたフォントパスを削除します。このユーティリティを実行できるのは、スーパーユーザーだけです。

### コマンド構文

```
/usr/dt/bin/sdtfprm [-e topdir] font_path_element
```

形式説明

<i>-e topdir</i>	フォントパスを変更する OpenWindows のインストールディレクトリを指定する。このオプションを指定しないと、デフォルトとして <i>/usr/openwin</i> が指定される
<i>font_path_element</i>	フォントパスから削除するディレクトリを指定する

---

## フォントのインストール (sdtfontadd)

指定したディレクトリにフォントをインストールします。

### コマンド構文

```
/usr/dt/bin/sdtfontadd [-e dir] [-v] [-f] [font_name ... ] fromdir todir
```

#### 形式説明

<code>-e dir</code>	スーパーユーザーの場合、このディレクトリにある OpenWindows のインストールディレクトリのフォントパスが、必要に応じて更新される。たとえば、フォントパス内に <code>todir</code> が存在しない場合、フォントパスに <code>todir</code> を追加する。なお、このオプションを指定しないと、デフォルトとして <code>/usr/openwin</code> が指定される
<code>-v</code>	<code>sdtfontadd</code> を冗長モードで実行し、フォントが1つインストールされるごとに、標準出力 (通常は、モニター) にメッセージを表示する
<code>-f</code>	ユーザーとの対話をしないで、 <code>sdtfontadd</code> を実行する。フォントが衝突したときに、読み取り専用のフォントであれば上書きせず、そうでない場合は新しいフォントに置換する
<code>font_name ...</code>	インストールするフォントのリストを指定する

---

注 - フォント名は、間違って解釈されないように、引用符文字で囲んでください。コマンド行でフォントが指定されていないと、`sdtfontadd` は標準入力 (通常は、キーボード) からフォント名を取り出します。

---

<code>fromdir</code>	フォントのコピー元のディレクトリを指定する
<code>todir</code>	フォントのインストール先のディレクトリを指定する

---

## フォントの一覧表示 (sdtfontls)

ディレクトリ内のフォントを一覧表示します。

## コマンド構文

```
/usr/dt/bin/sdtfontls [-x] [dir]
```

### 形式説明

- x X 論理フォント記述子 (XLFD) 名に従い、フォントを一覧表示する。ビットマップフォント (PCF) と Type 1 フォントが、XLFD 名に従って一覧表示される。XLFD 名がなく、Display Postscript™ からしか利用できない、Type 3 や Type 0 などのフォントタイプは、一覧表示されない
- dir フォントを一覧表示するディレクトリを指定する。ディレクトリを指定しないと、デフォルトとして現在のディレクトリが指定される

---

## フォントの削除 (sdtfontrm)

このユーティリティは、指定したフォントをディレクトリから削除します。

## コマンド構文

```
/usr/dt/bin/sdtfontrm [-e dir] [-v] [-f] [font_name ... ] fromdir
```

### 形式説明

- e dir スーパーユーザーの場合、このディレクトリにある OpenWindows のインストールディレクトリのフォントパスは、必要に応じて更新される。たとえば、フォントを削除したことにより *fromdir* が空になった場合、sdtfontrm はフォントパスから *fromdir* を削除する。このオプションを指定しないと、デフォルトとして /usr/openwin が指定される
  - v sdtfontrm を冗長モードで実行し、フォントが 1 つ削除されるごとに、標準出力 (通常は、モニター) にメッセージが表示される
  - f ユーザーとの対話をしないで、sdtfontrm を実行する。削除するフォントのリストに読み取り専用のフォントまたはシステムフォントがあった場合、フォントの衝突が起こる可能性がある。このときに -f オプションを使用していると、システムフォントは削除されるが、読み取り専用のフォントは削除されない
- font\_name ...* 削除するフォントのリストを指定する



---

注 – フォント名は、間違って解釈されないように、引用符文字で囲んでください。コマンド行でフォントが指定されていないと、`sdtfontrm` は標準入力 (通常は、キーボード) からフォント名を取り出します。

---

*fromdir*          フォントの削除元のディレクトリを指定する



## 付録 C

---

# アジアの言語のフォントセット

---

アジア諸国の言語を対象とするアプリケーションの場合、画面上にその言語の文字を正しく表現するために、文字セットごとにフォントをまとめる必要があります。このフォントの集まりをフォントセットと呼びます。

フォント管理では、フォントセットを編集するための機能が用意されています。はじめに、ユーザーは各自の検索基準に合わせてフォントセットを検索できます。さらに、フォントセット内の各フォントを変更したり、不完全なフォントセットにフォントを追加したりする作業も可能です。

この付録では、フォント管理を使用して、アジアの言語のフォントセットを編集するための方法について説明します。

---

注 – この付録は、アジアの言語のフォントセットを使用するユーザーを対象としています。アジアの言語のフォントを使用しない場合は、この付録は無視してください。

---

---

## フォントセットの検索

フォントセットを検索するには、次の手順に従います。

1. オプションメニューから「フォントの設定」を選択します。

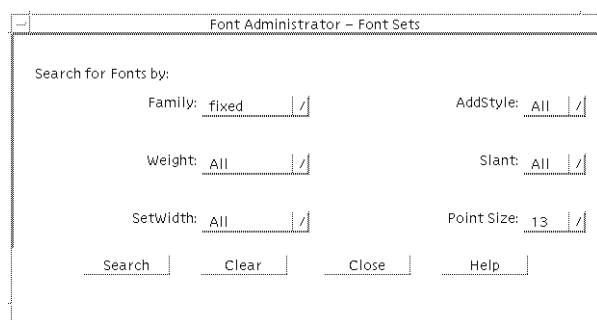


図 C-1 フォントセットの検索ダイアログ

2. フォントセットの検索ダイアログで、**Family** オプションメニューを使用して、検索するフォントファミリーを選択します。
3. **Point Size** オプションメニューを使用して、検索するポイントサイズを選択します。  
この他にも、必要なフォントセットを検索する上で検索基準にしたい属性を選択できます。
4. 「検索 (**S**earch)」をクリックします。

フォントセット項目の置換ダイアログに検索結果が表示されます。

---

## フォントセットの置換

フォントセットを置換するには、次の手順に従います。

1. 43 ページの「フォントセットの検索」に従い、フォントセットを検索します。

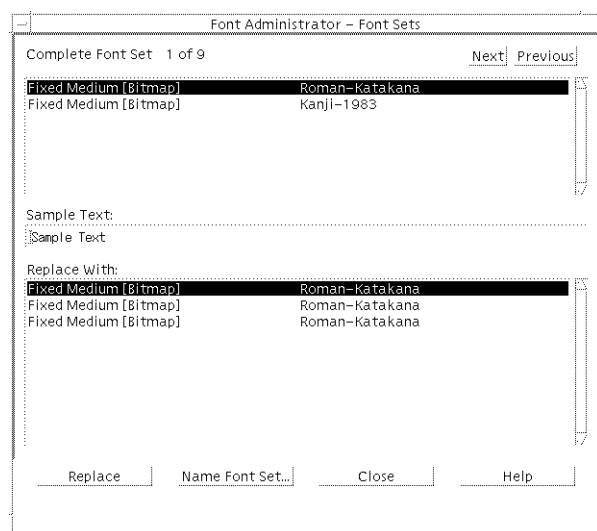


図 C-2 フォントセットの置換ダイアログ

2. フォントセットの一覧から、置換したい項目をクリックします。  
特定のフォントを選択することもできますが、フォントセットが不完全な場合は、「Missing」という項目を選択することもできます。
3. 置換リストから、代わりに使用したいフォントセットを選択し、クリックします。
4. 「置換 (Replace)」をクリックします。
5. 置換したい各項目に対して、手順 2 から手順 4 までを繰り返します。
6. フォントセットの置換が終了したら、「フォントセットの命名 (Name Font Set)」ボタンをクリックします。
7. 45 ページの「フォントセットの命名」に従い、フォントセットに名前を付けます。
8. 続けて別のフォントセットを変更する場合は、「次へ (Next)」または「前へ (Previous)」を何度かクリックして、目的のフォントセットを表示します。変更したい各フォントセットに対して、手順 2 から手順 7 までを繰り返します。

---

## フォントセットの命名

フォントセットに名前を付けるには、次の手順に従います。

1. 43 ページの「フォントセットの検索」に従い、フォントセットを検索します。

2. 44 ページの「フォントセットの置換」に従い、フォントセットを置換します。

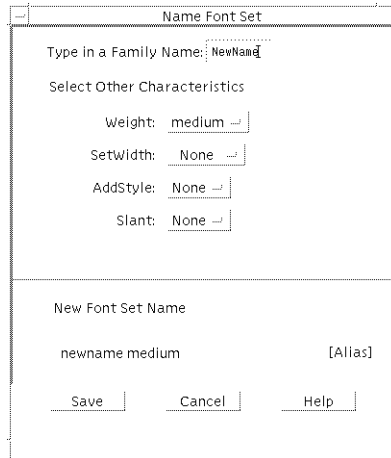


図 C-3 フォントセットの命名ダイアログ

3. フォントセットの命名ダイアログで、フォントセットの Family 名を入力します。
4. この他に、フォントセットの特性を選択することもできます。デフォルトでは、特性は「なし (None)」に設定されています。フォント管理は、このダイアログで指定した Family 名と特性に基づいて、別名を作成します。フォント管理が作成した別名は、ダイアログの下部にある「新フォントセット名 (New Font Set Name)」に表示されます。
5. Family 名と特性を指定したら、「保存 (Save)」をクリックします。

別名が一意であれば、フォント管理はこの情報を /etc/openwin/fontadm\_fonts/fonts.alias ファイルに保存します。一意でない場合は、一意の別名を指定するように求めるメッセージが表示されます。

# 索引

---

## S

sdtfontadd ユーティリティ, 39  
sdtfontls ユーティリティ, 39  
sdtfontrm ユーティリティ, 40  
sdtfpadd ユーティリティ, 37  
sdtfpls ユーティリティ, 38  
sdtfprm ユーティリティ, 38

## X

X 端末、使用上の注意事項, 12

## あ

アジアの言語のフォントセット, 43, 46

## え

エラーメッセージ, 33, 35

## お

オプションメニュー、説明, 15

## こ

コマンド行ユーティリティ, 37, 41

## さ

サンプルテキスト  
デフォルトの設定, 19  
表示, 18

## そ

属性、フォント  
表示, 19  
リスト, 20

## ち

チューザ、ディレクトリ  
使い方, 30, 32

## て

ディレクトリチューザ  
ダイアログボックス, 31  
注意事項, 32  
使い方, 30, 32

## は

パス、フォント  
注意事項, 28  
変更, 27, 30

## ひ

表記上の規則, 8

## ふ

フォント管理

開き方, 11

メインウィンドウ, 12

フォントセット、アジアの言語の, 43, 46

フォントのインストール, 23, 27

衝突の解決方法, 25

フォントパスの変更, 27

フォントの検索, 21

フォントの削除, 22

フォントの属性

表示, 19

リスト, 20

フォントの表示

NeWSprint プリンタ, 18

ローカルホスト, 17

フォントの別名, 表示, 20

フォントパス

注意事項, 28

変更, 27, 30

フォントメニュー、説明, 14

フォントリストの表示

NeWSprint プリンタ, 18

ローカルホスト, 17

プリンタ、フォントの表示, 18

## へ

別名、フォント, 表示, 20

ヘルプメニュー、説明, 15

## め

メインウィンドウ、説明, 12

## ゆ

ユーティリティ、コマンド行, 37, 41